

多摩永山中学校だより

すべての皆様へ、祈りと願いを込めて（入学式式辞）

校長 佐藤 信雄

桜の花もはや散り初め、道端の名もなき草も早緑に染まる、春たけなわを迎えました。本日、多摩市教育委員会教育長職務代理者 岩佐玲子様、多摩市議会議員 議会運営委員長 総務委員 池田けい子様をはじめ、多くのご来賓の皆様と、新入生保護者のご来校いただき、こうして令和5年度第27回入学式を挙行することができましたことは、何より喜ばしいことと存じます。高いところから恐縮ではございますが、関係のすべての皆様のご尽力に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今、皆さんはどんなお気持ちですか？ 新しい友達のことや、部活動が楽しみだといった希望や喜びだけではなく、もしかしたら不安や心配もあるかもしれませんね。教科の先生が授業ごとに違うのかとか、中間や期末のテストが心配だなあとか、小学校との違いを気にしている人もいるでしょう。でも、心配はいりません。いたずらに心配しなくてもよい理由をお話します。この話を聞けば皆さんは、「もう安心だ。」とホッとできるはずです。

左側を向いてください。ご来賓の皆様が皆さんのためにおいでになっていらっしゃいます。多摩市の、地域の代表として、普段から皆さんを見守り、応援してくれる方々です。気づかないところで、皆さんだけでなく、多摩市も学校も広く支えてくださっている方々です。こうした方々が、皆さんをこれからも応援してくれるのです。

右を向いてください。多摩永山中学校の教職員がいます。皆さんの学校生活、学習や部活動、友人関係などを支え、具体的に応援してくれる先生方です。多摩永山中学校の先生方は、ライフワークバランスを大切にしながら、全力で新入生の皆さんを指導、支援します。だれもが個性を生かして、強く優しく、皆さんに接してくれます。

後ろを向いてください。皆さんの先輩である2、3年生がいます。部活動や生徒会活動など多くの場面で、皆さんとともに活動し、力強く引っ張ってくれる頼もしい存在です。

その両側には、皆さんを今日まで育ててくださった保護者の方々がおいでです。人は誰でも一人のままで大人には育ちません。育ててくれる家族がいてこそ人は人として育ちます。大人の階段を上りつつある皆さんを、これからも優しく、時に厳しく、はぐくんでくださることでしょう。

それだけではありません。今この場には、新入生76名がいます。今日集まった新入生の皆さんは、同じ時代に同じ学校に学ぶことになった仲間です。皆さんには仲間がいるのです。喜びを共にできる仲間がいるのです。ですから、いたずらに不安を抱えず、中学校生活3年間の主人公として、毎日を送ってください。

不安が和らいだところで、新入生の皆さんにお願いです。どうか、幸せを追求してください。自分の幸せと、みんなの幸せを。これは、自分にとってみんなにとって、何が本当の幸せなのかを考えることから始まります。自分で感じて、考えて、責任ある行動をとって、自分とみんなの幸せを追求してください。そうすれば、これからどんな時代が来ようとも、皆さんはうろたえず困らず、社会の一員として人類の平和と愛と幸福に役立つ大人へと育っていけるはずですよ。一緒にやってみましょう。

保護者の皆様、今日までお子様をお育てになられた年月とご努力に、心から敬意を表します。家庭教育のプロである皆様と、学校教育の担い手である私たち多摩永山中学校の教職員一同で、手を取り合って若者の育成に当たっていきたく存じます。よろしく願いいたします。

最後に重ねて新入生の皆さん、これからの3年間で、皆さんが蘭のように気高く美しい花を咲かせ、竹のようにまっすぐに、そしてしなやかに成長し、心を燃やして毎日を送れることを心から願っています。